中学校１年「社会・世界の諸地域」

岐阜西中学校　令和３年７月

使用ツール

Ｏｎｅ Ｎｏｔｅ

活用シーン

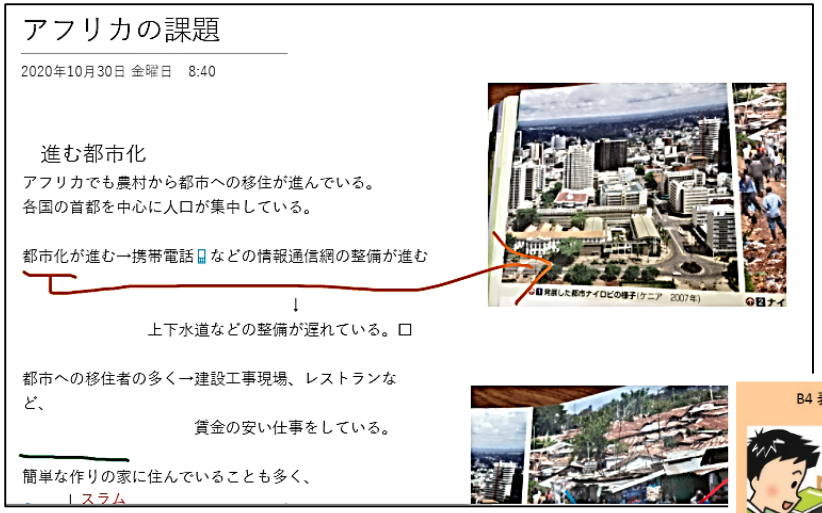
○個人追究

直接書き込んだり調査内容を記したノートを写真にとって、画像や資料を画面内に貼り付ける。

子どもの姿・授業の様子、成果等

○根拠となる資料を容易にまとめに挿入することが可能になり、資料を活用する生徒が増えた。

○ノートを回収する必要がない。随時採点が可能。



中学校２年「社会・近世の日本」

岐阜西中学校　令和３年７月

使用ツール

コラボレーションスペース

活用シーン

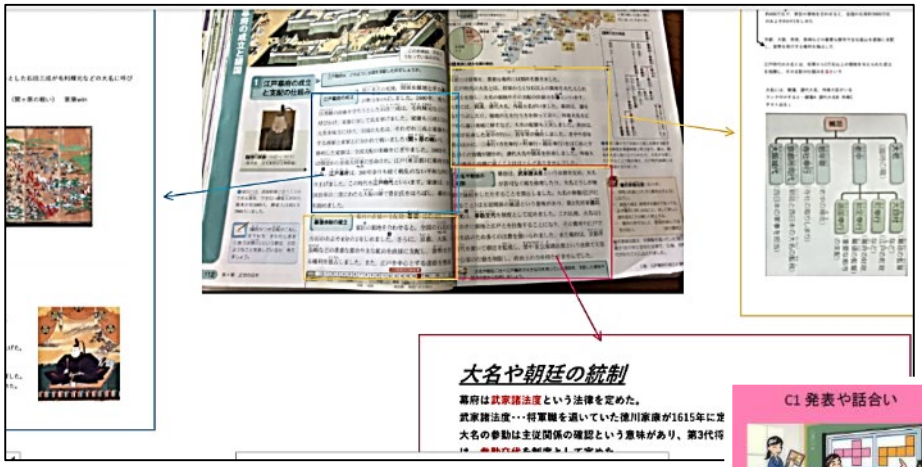
〇小集団学習

各自で追究した内容をコラボレーションスペースにスクリーンショットして貼り付けてから交流する。

子どもの姿・授業の様子、成果等

〇各自が書いたまとめを共有しやすい。

〇発言するときに、自分の席からノートを全員に示しながら話すことが可能になった。



中学校２年「社会・江戸時代の人々のくらし」

岐北中学校　令和３年６月

使用ツール

インターネット

活用シーン

○社会科における調べ学習に使用する。また、調べたことを交流する際、示しながら話が出きる。

子どもの姿・授業の様子、成果等

○具体的な写真を提示しながら交流できるので、聞き手が理解しやすい。グループ学習が容易にできた。

中学校２年「社会・九州地方」

本荘中学校　令和３年１０月

使用ツール

タブレットのメモ

活用シーン

〇調べ学習をした内容を交流する。
〇自然災害を防いだり、自然災害を乗り越えたりするために九州地方ではどのような工夫をしているのか調べ、自身で課題を解決する。
〇交流をするときには、調べたことを画像を示しながら説明し、相手が納得・理解できるような説明ができるようにする。
△著作権に配慮し、確実にＵＲＬをコピーさせておく。

子どもの姿・授業の様子、成果等

〇画像を見せながらの交流となったため、理解ができていた生徒が多かった。また、画像で見られるので文章を書くことが苦手な生徒も話し合いに多く参加することができていた。
〇画像を用いた交流となったため、より多くの生徒同士が関わることとなった。
△画像を選ぶことに集中してしまったり、説明の準備に書く作業を多くとったりしてしまうため、時間の確保が難しい。1単位時間で完結させるためには使い慣れることが必要。

中学校３年「社会・世界恐慌と日本の中国侵略」

藍川北中学校　令和３年５月

使用ツール

OneNote

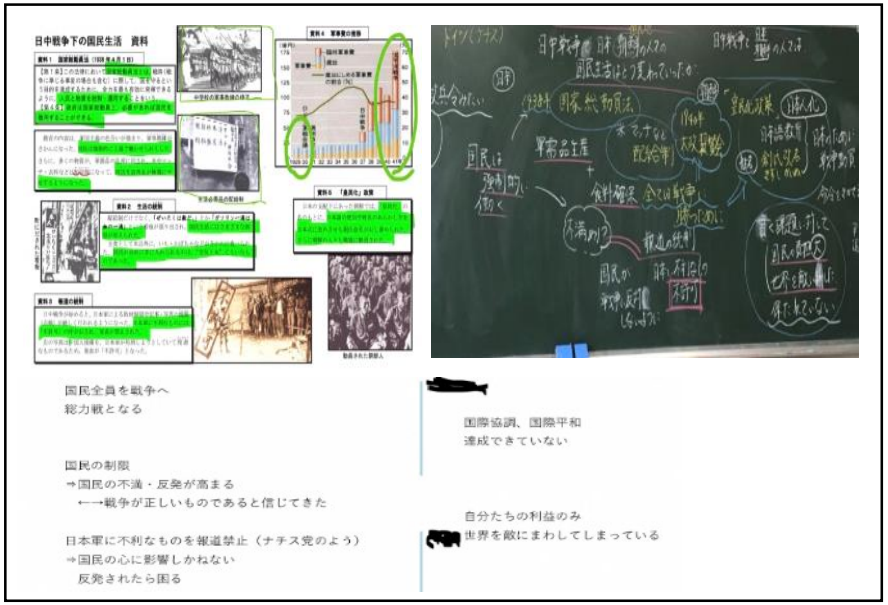
活用シーン

○一単位時間の追究資料をOneNoteのコンテンツライブラリに貼り付け、生徒が自身のクラスノートに保存し、追究内容を書き込めるようにした。

○資料によっては、それぞれが書き込んだことを、小集団で共有できるように「共同作業スペース」を活用した。

子どもの姿・授業の様子、成果等

○課題に対して、資料のどの点に注目していけばよいか、画面上で共有できるようになった。（共同作業スペース使用時）

※教師にとっては、生徒の資料を読み取る視点が記録として残り、評価や今後の資料づくりの参考になった。

○授業後に板書を貼り付けておくことで、欠席した場合も学習内容が把握できるようになった。